

まちかどピククス

2～3月



和太鼓の音に想いを込めて～忘れないよ大槌町～

2月23日、富田林市和太鼓まつり実行委員会により、すばるホールで、東日本大震災で被災した岩手県大槌町を支援するイベント「富田林和太鼓まつり」が9年ぶりに開催されました。当日は9つの和太鼓チームが出演し、それぞれの持ち味を生かした迫力ある演奏と多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、ステージは笑顔と活気であふれていました。

フィナーレの合同演奏曲「春風」では、所属チームや世代などの垣根を越えた息の揃った演技に観客は心を奪われていました。また、吉村市長からの奇跡の復興米の講話の他、大槌町有志で行われている「奇跡の復興米紙芝居」を応援する募金も同実行委員会により実施されました。



藤陽中学校の卒業式の様子

思い出を胸に、巣立ちの日

3月中旬、市内の各小・中学校で卒業式が行われました。春の陽気に包まれて、卒業生たちは、同級生や恩師との別れを惜しみながらも、慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。式は終始、温かい雰囲気、清々しい表情で式に臨んだ卒業生の中には、涙を浮かべている生徒もいました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

自然の中に冒険遊び場が登場！

3月9日、寺池公園で、寺池公園等を活かしたまちづくりの会による「第5回寺池公園プレーパーク&パラソルカフェ」が開催されました。プレーパークとは、子どもたちが思いっきり遊べる遊び場のことです。当日は、大阪大谷大学や阪南大学の学生がボランティアとしてサポートされ、訪れた子どもたちは、木登りやターザンロープなど、自分がやりたい遊びを全力で楽しんでいました。





16 小学校区の想いをカタチに



2月14日、レインボーホール（市民会館）で、全体校区交流会議が開催されました。本市では、増進型地域福祉を実現するため、市内16小学校区ごとに、地域住民主体の校区交流会議が開催されており、より良い地域を創るための取り組みとして校区プログラムが企画・実践されています。各校区の取り組みについては、市ウェブサイト（増進型地域福祉課のページ）をご覧ください。

外国人市民も安心して住めるまちに

2月16日、とんぼ（多文化共生・人権プラザ）で、外国人市民を対象とした通訳・翻訳付きの防災講座が実施されました。

地域社会が国際化する中、外国人市民も安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが大切です。

当日は、約30人の外国人市民が参加し、地震や大雨の時に気を付けることや、AEDの使い方などを真剣に学んでいました。



ひろがれ、つながれ！ みんなのひろとん！！

2月16日、エコール・ロゼで、「第20回市民活動わくわく広場inとんだばやし（ひろとん）」が開催されました。

当日は、市内で活動するNPOや地域の団体、町会・自治会など約60団体がブースなどを設置し、日ごろの活動の様子などを紹介していました。また、ステージでの発表やパネル展示も実施され、会場はたくさんの来場者でにぎわっていました。

きれいな石川に！

3月2日、第39回石川大清掃が実施されました。当日はあいにくの空模様でしたが、4566人が市内を流れる石川とその支流（宇奈田川、佐備川、千早川）の清掃活動に参加され、河原に落ちているごみを拾い集めました。約9.7トンものごみが回収され、市内の河川が一段ときれいになりました。参加していただいた皆さま、本当にありがとうございました。

